

平成17年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 教育プログラム及び審査結果の概要

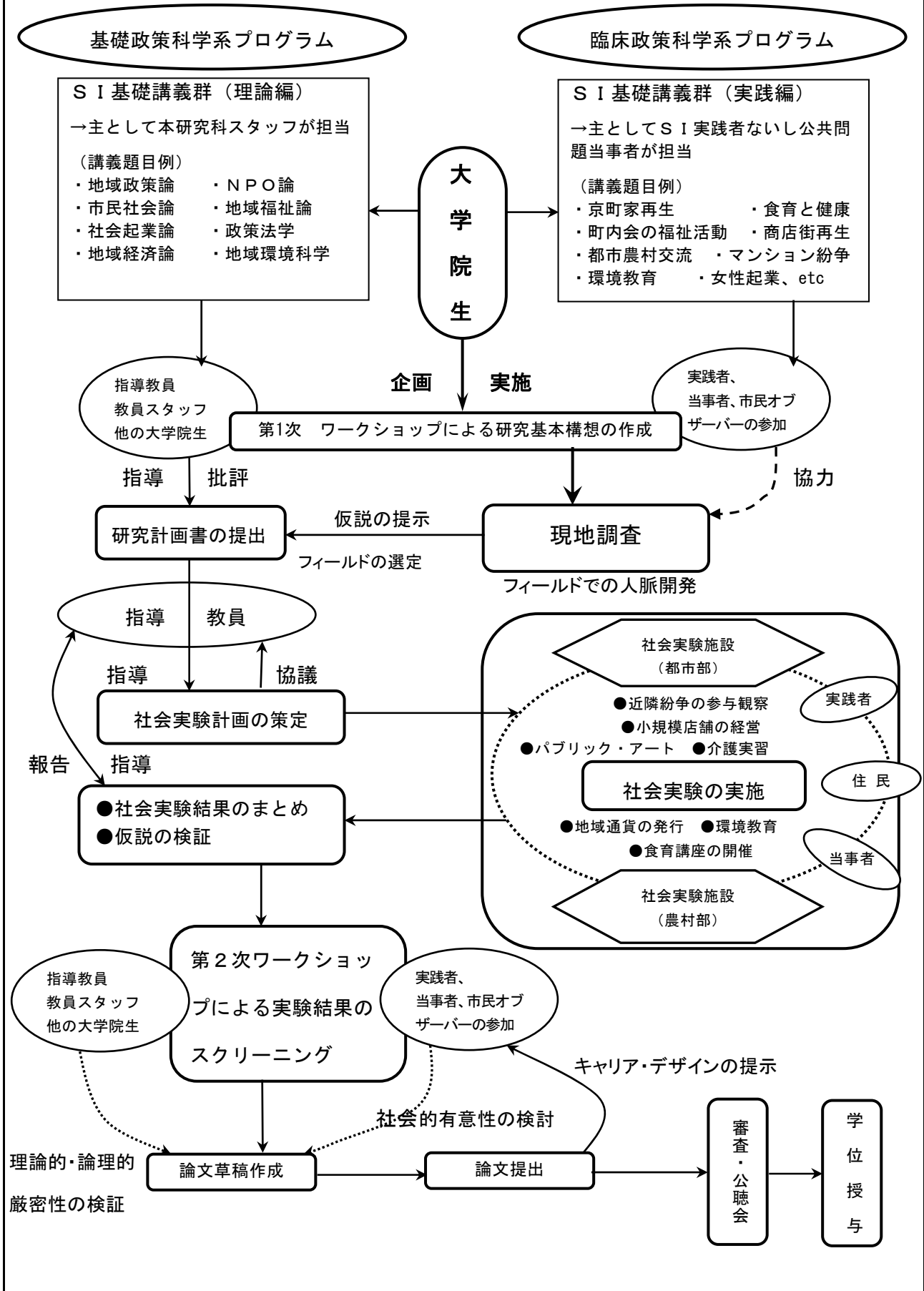
◇「1.申請分野(系)」～「6.履修プロセスの概念図」:大学からの計画調書(平成17年7月現在)を抜粋

機 関 名	同志社大学	整理番号	a033
1. 申請分野(系)	人社系		
2. 教育プログラムの名称	ソーシャル・イノベーション研究コース		
3. 関連研究分野(分科) (細目・キーワード)	主なものを左から順番に記入(3つ以内) (社会学)(経済学)(政治学)		
	主なものを左から順番に記入(5つ以内) (地域社会・村落・都市)(社会集団・組織論)(社会問題・社会運動)(地域経済学) (政治過程論)		
4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 ([]書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入)	(主たる研究科・専攻名) 総合政策科学研究科総合政策科学専攻[博士前期課程] 総合政策科学研究科総合政策科学専攻[博士後期課程]	研究科長(取組代表者)の氏名 新川 達郎	
	(その他関連する研究科・専攻名)		
5. 本事業の全体像			
5-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)			
<p>本学ではキリスト教主義教育を実践し、博愛の精神による社会奉仕を重視し、社会貢献の拡充深化や地域に開かれた大学づくりに努めている。特に近年、時代の要請に応える人材の養成のため学部の新設、再編を行うと共に、産官学の社会連携のための様々な研究プロジェクトを推進している。政策科学の分野でも1995年に独立研究科として総合政策科学研究科が設置されて多くの有為な人材を養成し、2004年度には政策学部が新設されたが、さらに本事業は「<u>良い社会(Good Society)</u>」づくりに貢献する新しいプロフェッション(ソーシャル・イノベーター)の養成を目指している。まさに本学の建学の精神に合致する重要なプロジェクトとして位置付けられるものである。</p> <p>また、本事業ではそうした研究者およびプロフェッション養成の拠点(=社会実験施設)をキャンパス外に、とくに市街地や農村部に設けるが、このことは大学がキャンパスを飛び出し自ら人間生活の現場に入って実践的・臨床的な教育研究を行うことでもある。その意味で、本事業は、本学にとって、大学による新たな社会貢献のフロンティアを切り開く画期的パイロット事業としての意義も有するのであり、重点的に推進していきたいと考えている。</p>			

機 関 名	同志社大学	整理番号	a033
<p>5-(2) これまでの教育研究活動の状況(現在まで行ってきた教育取組について)</p> <p>本研究科の教育理念は、「独自一己の気象を発揮し、自治自立の人民を養成する」という校祖・新島襄の建学精神を土台に、科学技術の進歩に伴い、多様化し、複雑化した現代社会の諸問題を解決できるような高度な専門知識と総合力を兼ね備えた、新しい時代のジェネラリストを養成することにある。そのため、博士課程(前期課程)では、専門職業能力の向上を目的とした教育・研究体制をとり、学部から直接進学してくる大学院生だけではなく、社会人のリカレント教育需要に積極的に対応してきた。また、博士課程(後期課程)では、高度な専門知識や専門能力を身につけた上で、これら知識や能力を総合化・体系化することをめざしている。具体的には、前期課程に公共政策、企業政策、ヒューマン・セキュリティ研究の各コースを、後期課程には公共政策、企業政策、ヒューマン・セキュリティ研究のほか、技術・革新的経営研究(TIM)のコースを、それぞれ設けている。</p>			
<p>5-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組及び意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画について)</p> <p>本大学院総合政策科学研究科に属する大学院生の研究テーマには、教育、福祉、環境、まちづくり等、地域社会での公共問題の政策的解決を扱ったものが少なくない。大学院生がそのようなテーマを選定するのは、研究を通じてあるいはキャリア形成の過程で「良い社会」の建設に貢献したいという社会革新志向があることは想像に難くない。社会革新を、とくに地域社会規模の社会革新を目指した研究は、具体的な公共問題解決や社会革新活動と接続することによってより効果的な研究成果を上げる可能性が高い。また、こうしたテーマを追究する大学院生が希望する職業は、研究者のみならず、公益実現を使命とする政府ないし非政府組織職員であることが多く、就職後も職業上だけでなく個人的にも公益形成型活動に従事する傾向が強く見られる。</p> <p>社会革新を志向する研究が実践活動と相互媒介的に組み合わせられることによって生産的になるのであれば、大学院教育にそのような教育プログラムが取り入れられてしかるべきである。このプログラムは、社会革新型研究のための実験・実習の機会と場を必要とする。これを社会実験と呼べば、地域社会を対象とした社会実験は、地域社会に開かれた場(=公共空間)を設け、そこで研究計画にもとづく様々な実験、実習、調査等を展開するほか、地域住民をはじめ多様な社会構成員との交流や協働、さらには彼らの研究参画を得ることによって、その存在価値を高めるにちがいない。</p> <p>さらに、このような公共空間としての性格を備えた社会実験施設には、大学院生に社会革新を目指す研究者かつ実践家(=social innovator)育成の訓練(=discipline)の場としての機能も付与することが肝要である。医師というプロフェッショナルの養成が基礎医学と臨床医学の習得を不可欠の要件とするように、政策を通じた社会革新を目指すプロフェッショナルにとっても臨床的教育の機会と場は不可欠である。したがって、本プログラムは、研究者養成に資する基礎系カリキュラムと並んで、社会実験施設としての公共空間を主たる教室とした、実践者臨床系カリキュラムを兼ね備えることがその大きな独創的特徴となる。再び医学とのアナロジーを用いれば、本プログラムは社会の病理を究明するだけではなく、地域に重点を置きつつ社会の疾病を治癒するプロフェッショナルとしての社会革新者(social innovator)の育成をその使命とするものである。</p>			

6. 履修プロセスの概念図

ソーシャル・イノベーション(SI)研究コース概念図



機 関 名	同志社大学	整理番号	a033
<p data-bbox="165 199 588 232">< 審査結果の概要及び採択理由 ></p> <p data-bbox="165 295 1430 472">「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化（教育の課程の組織的な展開の強化）を推進することを目的としています。</p> <p data-bbox="189 488 491 521">本事業の趣旨に照らし、</p> <p data-bbox="189 533 1430 613">①大学院教育の実質化のための具体的な教育取組の方策が確立又は今後展開されることが期待できるものとなっているか</p> <p data-bbox="189 629 1225 663">②意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画となっているか</p> <p data-bbox="165 678 1430 855">の2つの視点に基づき審査を行った結果、当該教育プログラムに係る所見は、大学院教育の実質化のための各項目の方策が、優れており、期待できるとともに、教育プログラムが事業の趣旨に適合しており、その実現性、一定の成果と今後の展開の面も期待できると判断され、採択となりました。なお、特に優れた点、改善を要する点等については、以下の点があげられます。</p> <p data-bbox="177 916 633 949">〔特に優れた点、改善を要する点等〕</p> <ul data-bbox="172 965 1430 1189" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="172 965 1430 1093">・近年、社会的期待が高まっている「ソーシャル・イノベーター」を、地域サポーターとの連携の下、市街地及び農山村のオフキャンパス拠点の確保により、社会実験という手法を取り入れながら養成しようとする試みは、斬新であり、評価できる。 <li data-bbox="172 1108 1430 1189">・教育プログラムの実現に向けて、総合政策科学の概念や社会実験の支援体制、オフキャンパス拠点の確保なども含め、より具体化が望まれる。 			